

分野名：学社連携・融合

学校を核とした地域づくりをめざして ～学校と公民館の連携による地域学校協働活動～

みやま市 【社会教育課】

地域学校協働活動推進員 大坪 淑子

1. 事業名

みやま市 地域学校協働活動事業

2. 事業の目的

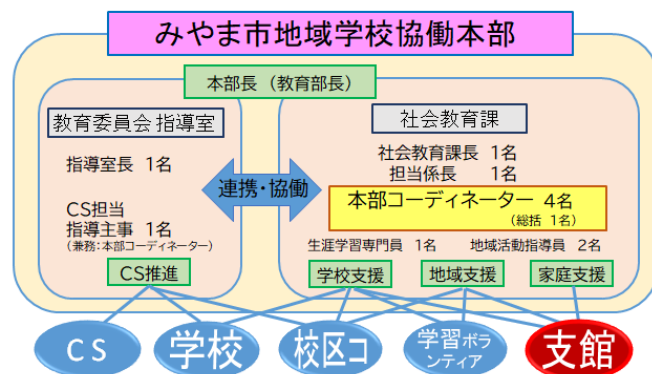
子供たちの学びや成長のために、地域人財を活用し、学校と地域が連携・協働しながら活動することにより、地域への親しみや愛着を育てる。

3. 事業の主体

みやま市 地域学校協働本部（みやま市教育委員会 社会教育課 社会教育係内）

4. 連携・協力機関・団体等

- ・みやま市小中学校
- ・地域連携担当者
- ・学校運営協議会
- ・校区コーディネーター
- ・学習支援ボランティア
- ・みやま市公民館（支館）
- ・みやま市教育委員会指導室



5. 事業予算

公民館事業費

地域学校協働活動事業費補助金（県費 1/3、国費 1/3、市費 1/3）

6. 実施に至る経緯：みやま市における「地域学校協働活動」の経緯

平成 30 年度：地域学校協働本部設置、係長と本部コーディネーター 4 名配置

令和 2 年度：全小中学校に校区コーディネーターを配置

令和 3 年度：地域学校協働活動三者会を定例化

（校区コーディネーター、地域連携担当者、本部コーディネーター）

令和 4 年度：市全教職員に対して活動の周知と協力を図るための研修会の実施

7. 事業の内容

（1）みやま市「地域学校協働活動」の 3 つの柱について

学校支援	…授業補助、G T等学習支援ボランティアによる人財の活用
地域支援	… <u>公民館事業等の支援</u> 、通学合宿の支援
家庭支援	…未来塾（放課後学習教室のこと）を全小中学校で実施支援

学 校 支 援	地 域 支 援	家 庭 支 援
 地域を知り、地域の方と触れ合う授業「桜散歩 おうさんほ」(桜舞館小学校) ▲ 縦割り班活動の授業補助 (朝読書、習字学習、地域学習などの支援) 学習支援ボランティア等 - 授業補助(ミシン、習字、郷土学習) - 学校環境整備(花壇、剪定等) - 登下校の見守り(見守り隊) など	 「屋外クッキング」飯ごう炊飯を体験しておいしく食べました(南支館) ▲ 公民館事業 (15支館でさまざまな体験活動を実施) 体験活動等 - 遊び体験(公民館事業) - 自然体験(通学合宿事業) - 芸術文化体験(スプリングコンサート) など	 地域の方に見守られながら宿題や自学に取り組んでいます(間小学校) ▲ 子ども未来塾 (児童生徒182名、地域の方139名参加) 放課後学習教室等 - 未来塾(全小中学校実施) - サマースクール支援(高校生派遣) - 自主学習支援 など

(2) 夏休み宿題お助け隊事業について【地域支援】

目的：夏休みの宿題に自ら取り組みながら、地域の方とのふれあいを図る。

対象：小学校4年生の希望者(学校へ募集チラシを配付)

方法：自分でやりたい夏休みの宿題等への指導助言

会場：校区の公民館

運営：支館長、主事を中心とする地域の方や教職員 0B

<地学協の支援>

- ①支館研修会時に事業支援の説明 ⇒②実施予定の支館役員との打合せ ⇒
 ③募集チラシ作成等の支援 ⇒④学校へ募集チラシ配付及び回収の協力 ⇒
 ⑤当日の学習支援補助 ⇒⑥本事業の内容及び成果と課題を報告
 (校長会、支館研修会等で)

(3) 学校における教育課程内の活動「地域学習」への支援【学校支援・地域支援】

活動目的：地域の方と一緒に散策し、地域のよさを知り地域への愛着をもつ。

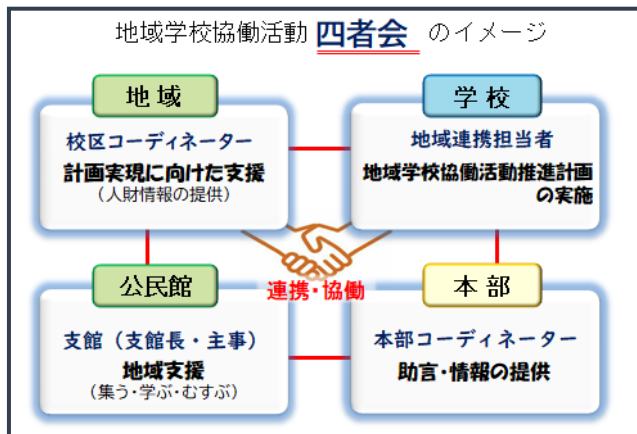
活動内容：縦割り班でコースを決め、各ポイントで説明を聞いたり、体験活動をしったりする。また、異学年での交流を通して人間関係を深める。

活動場所：地域の文化財(神社、城跡、祭り等)、店や施設、公民館等

対象：小学校1～6年生、地域の方(GT、見守り隊、昼食づくり支援等)

運営：学校…コースや各学年の役割等の検討、当日の安全確認、CSへの依頼等
 地域…校区コーディネーターからGT及び見守り隊等への依頼
 各支館の館長、主事等も協力(体験活動や昼食づくりの依頼)

- <地学協の支援>…①地域学校協働活動定例四者会へ参加：地域学習2ヶ月前
 (当日の児童の動きは可能か、地域の協力が得られているか等について助言)
 ⇒②当日の支援補助(安全のための引率、昼食会場での補助等)
 ⇒③本事業の内容及び成果と課題を報告(本部研修会で支館長等へ)



<四者会の運用のよさ>

三者会

- ・学校：地域連携担当者
- ・地域：校区コーディネーター
- ・本部：本部コーディネーター

+

公民館 が加わることで、
地域の教育資源（ひと・もの・こと）
情報の視野が広がる。

⇒子供の学びが深まる。



▲地域学習：地域産海苔を調理



▲地域学習：地域の方に感謝の会



▲地域の方と話し合う様子

8. 事業の成果

学校側

- 学校も地域も元気になった。
- 地域と連携することにより、学習支援ボランティアの協力が得られ、地域学習内容の質的向上及び新たな教材開発につながった。
- 地域への親しみや愛着、誇りに思う子供を育てることができた。

児童生徒

- 地域の方からの地域資源の説明やかかわりが得られるため、地域のよさを再発見したり、地域の方の温かさに気付いたりできた。
- 体験活動を通して地域の特産物や地元生産者の知恵や工夫を学び、地域の宝を実感することができた。

地域の方

- 地域の教育資源（ひと・もの・こと）情報を学校に提供することにより地域学習への参画ができ、地域の活性化を図ることができた。
- 学習支援ボランティア等には、子供達とふれあう楽しさや生きがいを感じられ、地域の方々の自己肯定感等が高まった。

9. 今後の課題

- 公民館事業推進のための後方支援（学校との連絡調整等）
- 子供達の地域参画（子供達のやりたいことを地域の大人達が支援）

問い合わせ先

〒835-0192 福岡県みやま市山川町立山1278

みやま市 地域学校協働本部（みやま市教育委員会 社会教育課）

TEL：0944-32-9184 FAX：0944-32-9192

E-mail：lifelong @city.miyama.lg.jp